
プログラム

1日目 9月23日(金)

第1会場(札幌プリンスホテル 国際館パミール6F 美瑛・十勝)

11:45~11:50 開会挨拶

11:50~12:50 ランチョンセミナー 1

座長:石井 智徳(東北大学病院臨床研究推進センター 特任教授)

LS1-1 継続例から見えてくるJAK阻害薬の特徴~バリシチニブの長期臨床試験を踏まえて~
綾部 敬生(慶友整形外科病院 整形外科部長・慶友リウマチセンター長)

LS1-2 関節リウマチ治療におけるオルミエントの役割

近藤 恒夫(埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科 講師)

共催:日本イーライリリー株式会社

13:00~14:30 若手リウマチ医奨励賞受賞者セッション

座長:加藤 将(北海道大学 免疫・代謝内科)

小寺 隆雄(東北医科薬科大学 内科学第三内科(血液・リウマチ科))

YIA1-1 ライム病罹患後に関節リウマチを発症した一例

中村 海人(手稲溪仁会病院 総合内科)

YIA1-2 消化器症状と汎血球減少を呈した関節リウマチ合併LRBA欠損症に対し

アバタセプトを投与した1例

蜷川 慶太(北海道大学大学院 医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

YIA1-3 器質化肺炎が先行した関節リウマチの1例

宮 一雄(岩手県立江刺病院 整形外科)

YIA1-4 網膜中心動脈閉塞症(CRAO)を来した顕微鏡的多発血管炎の一例

江口 耕平(旭川医科大学病院 リウマチ・膠原病内科)

YIA1-5 腰痛で発症、経過中洞停止をきたし、シクロフォスファミドパルスが

奏功した抗ミトコンドリア抗体陽性皮膚筋炎の一例

高橋 幹弘(東北大学病院 リウマチ膠原病内科)

YIA1-6 肺胞蛋白症を主症状とした自己免疫疾患の二例
鎌田 和郎(北海道大学大学院医学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

YIA1-7 難治性肺胞蛋白症を合併したトリソミー8陽性MDS/ベーチェット病に
造血幹細胞移植が著効した一例
吉田 周平(福島県立医科大学医学部 リウマチ膠原病内科学講座)

YIA1-8 人工肘関節再置換術を実施した関節リウマチ 5 症例
大嶋 教勢(札幌医科大学 整形外科)

YIA1-9 全身性エリテマトーデス診療におけるBelimumabの使用経験と継続率
竹山 脩平(北海道大学大学院医学院・医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

YIA1-10 高齢関節リウマチ患者における生物学的製剤の有効性および安全性の検討
天目 純平(福島県立医科大学医学部 リウマチ膠原病内科学講座)

YIA1-11 全身性強皮症に伴う間質性肺疾患の定量的CTを用いた予後予測因子の検討
多田麻里亜(北海道大学大学院医学院・医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

14:40～15:40 スポンサーセミナー 1

座長: 右田 清志(福島県立医科大学 リウマチ膠原病内科学講座 教授)

SS1 患者背景を考慮した関節リウマチ治療戦略 —サリルマブの使用経験—
演者: 清水 裕香(帯広厚生病院 消化器内科 医長)

共催: 旭化成ファーマ株式会社

15:50～16:20 JCR臨床研究推進委員会教育講演

司会: 高木 理彰(山形大学医学部整形外科学講座 主任教授)

EL システマティック・レビュー／メタ・アナリシスと診療ガイドライン
西脇 宏樹(昭和大学藤が丘病院 内科系診療センター 内科(腎臓))

16:30～17:30 シンポジウム

座長: 清水 智弘(北海道大学病院 整形外科)
神田 真聡(札幌医科大学 免疫・リウマチ内科学)

SY-1 北海道・東北地区のリウマチ診療の現状と問題点
-やらかなネット 9年の経験からみえてきたこと-
高窪 祐弥(山形大学医学部 整形外科学講座)

SY-2 診断未確定リウマチ性疾患へのアプローチ
白井 剛志(東北大学病院 リウマチ膠原病内科)

SY-3 北海道・東北地区のこれからの関節リウマチ病診連携 -uRMD-NETについて-
神田 真聡 (札幌医科大学 免疫・リウマチ内科学)

17:40～18:40 イブニングセミナー 1

座長:牧野 雄一(旭川医科大学 地域共生医育統合センター 教授・
旭川医科大学病院 リウマチ・膠原病内科)

ES1 ORAL surveillanceから見えてくるJAK阻害薬への期待と課題
山岡 邦宏 (北里大学医学部 膠原病・感染内科学 主任教授)

共催:ファイザー株式会社

18:40～18:50 若手リウマチ医奨励賞・若手ゲウム賞受賞者表彰式

第2会場(札幌プリンスホテル 国際館パミール6F 大雪)

11:50～12:50 ランチョンセミナー 2

座長:谷村 一秀(北海道内科リウマチ科病院 理事長)

LS2 関節リウマチ治療の現状と未来を考える～JAK阻害薬を中心に～
金澤 洋(青森県立中央病院 リウマチ膠原病内科 部長)

共催:アステラス製薬株式会社

13:00～14:30 若手ゲウム賞受賞者セッション

座長:岡本 健作(旭川医科大学病院 リウマチ膠原病内科)
白井 剛志(東北大学 リウマチ膠原病内科)

GYIA1-1 特発性多中心性Castleman病に関節リウマチを合併した1例
田中竜太郎(福島赤十字病院 リウマチ・膠原病内科)

GYIA1-2 異所性、経時的に医原性免疫不全関連リンパ増殖性疾患が発生し、
polymorphic/lymphoplasmacytic infiltrates-typeからホジキン病に
進展したと考えられる関節リウマチの一例
石井三千花(福島赤十字病院 リウマチ・膠原病内科)

GYIA1-3 限局皮膚硬化型全身性強皮症に合併しinhibitor boostingによる
血漿交換不応が疑われた血栓性血小板減少性紫斑病の一例
森 健太郎(東北大学病院 リウマチ膠原病内科)

GYIA1-4 急性期に生物学的製剤の導入が有効であった膿疱性乾癬(汎発型)の一例
雨池 秀憲(札幌厚生病院 リウマチ・膠原病内科)

GYIA1-5 全身性エリテマトーデスに続発した無巨核球性血小板減少症に
リツキシマブが有効であった一例
中村 昂生(苫小牧市立病院 内科)

GYIA1-6 シェーグレン症候群にANCA関連血管炎を合併し,急性の口腔内乾燥を呈した一例
服部奈津子(昭和大学医師臨床研修センター)

GYIA1-7 完全型家族性地中海熱とIgA血管炎を合併した一例
住近 祐弥(福島県立医科大学医学部 リウマチ膠原病内科学講座)

GYIA1-8 筋限局型結節性多発動脈炎(M-PAN)の一例
大野 翼(旭川医科大学病院 リウマチ・膠原病内科)

GYIA1-9 乳癌診断後に発症し,急速に進行した抗TIF1- γ 抗体陽性皮膚筋炎の1例
佐藤 哲弥(岩手県立中央病院 腎臓・リウマチ内科)

GYIA1-10 間質性肺炎を伴う皮膚筋炎に進行胃癌を併発し,早期に腫瘍摘出した一例
片倉 世雄(東北大学病院 リウマチ膠原病内科)

GYIA1-11 炎症性筋疾患に合併した間質性肺炎に対する3剤併用療法の治療成績
佐々菜穂子(青森県立中央病院 リウマチ膠原病内科)

14:40~15:40 スポンサーセミナー 2

座長: 藤井 博司(東北大学病院 リウマチ膠原病内科 准教授)

SS2 ANCA関連血管炎治療～アバコパンへの期待～
桐野 洋平(横浜市立大学大学院医学研究科 幹細胞免疫制御内科学 講師)
共催:キッセイ薬品工業株式会社

16:30~17:00 一般演題 1「関節リウマチ・その他」

座長: 村上理絵子(JA北海道厚生連 札幌厚生病院 リウマチ・膠原病内科)

O1-1 関節リウマチ治療中に皮膚筋炎を発症し,合併した重複癌(腎癌,直腸癌)
切除術により軽快した一例
玉山 慶彦(岩手県立中央病院 腎臓リウマチ科)

O1-2 当院における回帰性リウマチ 62例の臨床経過とその治療に関する考察
泉山 朋政(東仙台リウマチ科内科クリニック)

O1-3 COVID-19ワクチン接種後にリウマチ性多発筋痛症を発症した一例
梁 秀蘭(山形大学医学部 整形外科)

- 01-4 IgG4関連涙腺・唾液腺炎における2ペア以上の涙腺・唾液腺腫脹はIgG4関連疾患の診断を支持するのか
永幡 研(札幌医科大学 医学部 免疫・リウマチ内科学)

17:00～17:30 一般演題2「血管炎」

座長:堀田 哲也(苫小牧市立病院 内科)

- 02-1 発症の約14年後に再燃したと考えられたANCA関連血管炎の1例
高澤 徳彦(東北医科薬科大学 若林病院 内科)

- 02-2 肉芽腫性血管炎によると思われた多発性脳梗塞を生じた
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の一例
片岡 浩(市立札幌病院 リウマチ・免疫内科)

- 02-3 高齢発症高安動脈炎の2例
鈴木 修三(公立藤田総合病院 内科)

- 02-4 消化管出血を繰り返し治療に難渋したIgA血管炎の1例
雨森 恭子(弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座)

17:40～18:40 イブニングセミナー 2

座長:小池 隆夫(北海道内科リウマチ科病院 最高顧問)

- ES2 TNF阻害薬を考える
金子 祐子(慶應義塾大学 リウマチ膠原病内科 教授)

共催:大正製薬株式会社

2日目 9月24日(土)

第1会場(札幌プリンスホテル 国際館パミール6F 美瑛・十勝)

8:20~8:50 運営委員会・総会

9:00~10:00 モーニングセミナー 1

座長: 渥美 達也(北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室 教授)

MS1 関節リウマチ治療の実際と展望 ~フィルゴチニブのポテンシャル~

小寺 隆雄(東北医科薬科大学 内科学第三(血液・リウマチ科)准教授)

共催: ギリアド・サイエンシズ株式会社/エーザイ株式会社

10:10~11:10 特別講演

座長: 高橋 裕樹(札幌医科大学 免疫・リウマチ内科学 教授)

SL 最低限の医療

國頭 英夫(日本赤十字医療センター 化学療法科 部長)

11:20~12:20 ランチョンセミナー3

座長: 小池 隆夫(北海道内科リウマチ科病院 最高顧問)

LS3 関節エコーの素晴らしさと実臨床下におけるアバタセプトの有効性と安全性

~超音波検査と生物学的製剤が織りなす関節リウマチ診療への新たな挑戦~

三崎 健太(北播磨総合医療センター リウマチ・膠原病内科 診療科長)

共催: ブリストルマイヤーズスクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

12:30~13:10 一般演題3「関節リウマチ」

座長: 霜村 耕作(北海道立江差病院/札幌医科大学 整形外科)

河野 通仁(北海道大学 免疫・代謝内科)

03-1 関節超音波検査での炎症所見に基づいた段階的リハビリテーションの介入を行い、
関節機能の改善を認めたRS3PE症候群の1例

高松 尚徳(北海道内科リウマチ科病院 リハビリテーション課)

03-2 女性RA患者の美容に関するセルフケアの意識調査

田口 紗理(駒ヶ嶺リウマチ整形外科クリニック)

03-3 MTX中止後、JAK阻害薬治療にて縦隔リンパ節腫大が再燃したRAの1例

松岡 直紀(福島赤十字病院 リウマチ膠原病内科)

03-4 当院におけるトシリズマブ皮下注投与期間短縮の治療継続性について
古崎 章(医療法人社団 佐川昭リウマチクリニック)

03-5 当院における関節リウマチの骨粗鬆症に対するロモズマブの治療効果
黒瀬 理恵(弘前記念病院)

13:10～13:20 閉会式

第2会場(札幌プリンスホテル 国際館パミール6F 大雪)

9:00～10:00 モーニングセミナー2

座長:宮腰 尚久(秋田大学大学院医学研究科整形外科学講座 教授)

MS2 安定・安全・安価な関節リウマチの薬物治療を目指して
平野 裕司(豊橋市民病院 リウマチ科 部長)

共催:あゆみ製薬株式会社

11:20～12:20 ランチョンセミナー4

座長:片岡 浩(市立札幌病院 リウマチ・免疫内科 部長)

LS4 関節リウマチにおけるUpadacitinibの安全性・有効性プロファイル
村上 孝作(京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター

がん免疫治療臨床免疫学部門 特定准教授)

共催:アヴィ合同会社